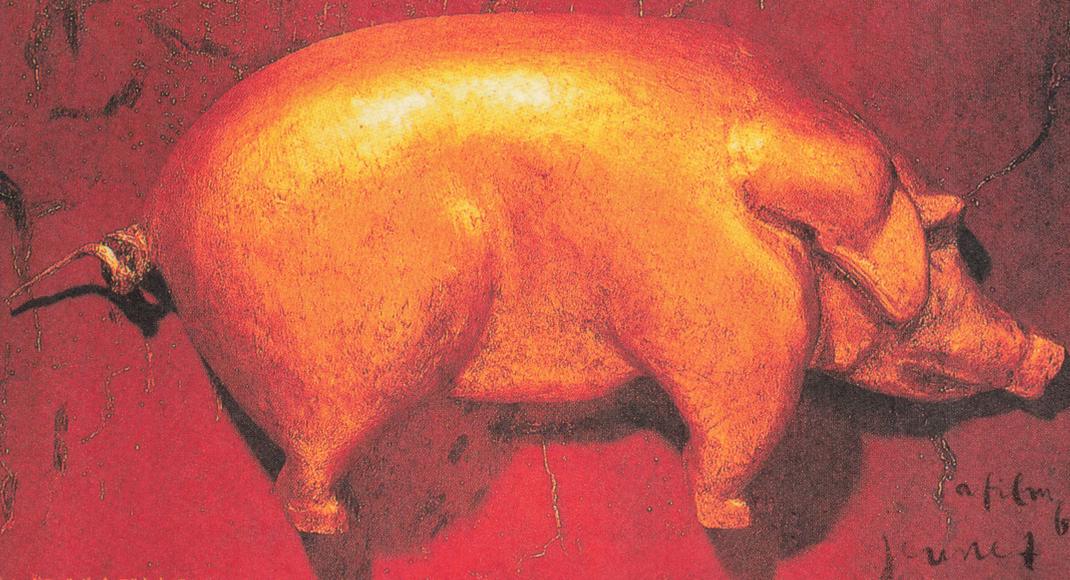


「アメリカ」のジャン＝ピエール・ジュネとマルク・キャロの奇オコンビによる傑作ブラックコメディ!



a film by
J. J. Coixet
and
C. Caro

監督:ジャン＝ピエール・ジュネ、マルク・キャロ
1991年/フランス/100分/フランス語
提供: JAHO | 配給: Digger
© 1991 STUDIOCANAL

DELICATESSEN

デリカテッセン

4Kレストア版

肉踊る世紀末の巴里が鮮やかに蘇る——

風刺的で禍々しい物語とレトロフューチャーな美学。 CG以前のハンドメイドな工芸で包み込んだ美しく愛らしい名作!



4Kレストア版

監督:ジャン=ピエール・ジュネ、マルク・キャロ
出演:ドミニク・ピノン、マリ=ロール・ドゥーニャ、ジャン=クロード・ドレフェス、カリン・ヴィアール
デリカテッセン 4Kレストア版 / 1991年/フランス / 100分/フランス語
提供:JAIHO 配給:Diggin' ©1991 STUDIOCANAL

DELICATESSEN



un film de
JEUNET et CARO



のちに『アメリカ』で人気爆発するジャン=ピエール・ジュネ監督が、美術監督の盟友マルク・キャロと共に造り上げた名コンビ“ジュネ&キャロ”の長編デビュー作。舞台は核戦争後のパリ郊外。食糧難に陥った近未来の世界で、路地裏の肉屋デリカテッセンでは謎のお肉を売っていた……という風刺的で禍々しい物語を、レトロフューチャーな美学とCG以前のハンドメイドな工芸で包み込んだとっても美しく愛らしい名作だ。

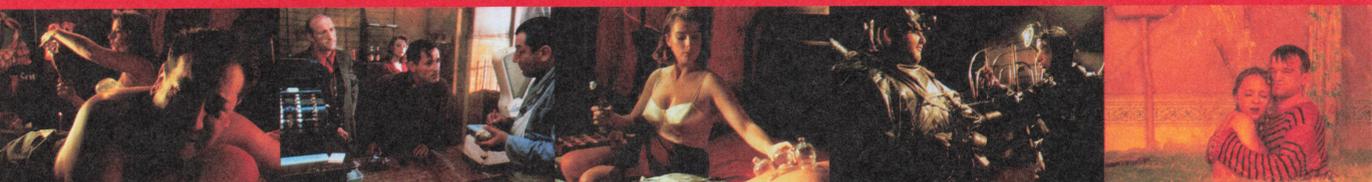
ノスタルジックなセピア色の映像に染められた下町群像は、ディストピアSFなのにルネ・クレールの巴里映画のよう。新聞の求人広告を見て肉屋にやってきた失業中の心優しき芸人ルイゾン(ジュネ&キャロ映画の顔と言える

怪優ドミニク・ピノン)と、アメリカの原型のような天然ぶりが目を引く肉屋の娘ジュリー(マリ=ロール・ドゥーニャ)の不器用なラブロマンス。カニバリズムや怪奇と幻想が、すべておとぎ話に昇華する。スプリングベッドやノコギリ楽器を使った音の演出も愉快で、映画自体がアンティークショップに置いてある機械仕掛けのおもちゃのようだ。

ユーモラスなキャラクター造形も素晴らしい。肉屋が経営するアパートメントの住民は変人奇人ばかり。そして彼らが地底人と呼ぶ、下水道を拠点にレジスタンス運動を繰り広げる菜食主義の地下組織「トログロ団」(その一員をマルク・キャロが演じている!)

また本作は天才たちの奇跡的な競演でもあった。撮影監督は数年後に『セブン』を手掛ける革命児ダリウス・コンジ。当時新鋭だった彼の変態的なこだわりは今回の4Kレストア版でさらに鮮明になった。音楽を担当したのは本作発表の翌年、1992年に逝去したブエノスアイレス出身の作曲家カルロス・ダレッシオ。そんな『デリカテッセン』の熱烈なファンを公言していたのが、仏モード界を代表するファッションデザイナーのジャン=ポール・ゴルチエ。彼はジュネ&キャロの長編第2作『ロスト・チルドレン』の衣装を手掛けている。

Text by 森直人(映画評論家)



2025 1.10 FRI. 奇跡のリバイバル
ロードショー

地下鉄新宿三丁目駅B2出口より徒歩1分

シネマート新宿

03(5369)2831 www.cinemart.co.jp